

ウメ「露茜」における早期多収のための樹形の開発

果肉が赤く着色するウメ「露茜」は、ウメジュースや梅酒に加工すると鮮やかな赤色になるため、加工品原料としての利用価値が高く、その活用が期待されています。しかし、「露茜」は枝が細いため果実の重さで骨格枝が下垂しやすく、一般的な整枝法「開心自然形」にすると、樹勢が弱くなり樹冠拡大が遅くなります。そこで早期に樹冠占有面積の拡大が可能で、多収生産および作業性に優れた樹形、主幹形と棚仕立て形について検討しました。

☆ 技術の概要

1. 本試験では、図1のように開心自然形、棚仕立て形、主幹形(主幹長:2.5m、2.0m)の4つの樹形について2014年および2015年の2年調査しました(約9年生)。
2. 1樹当たり収量と1m²当たり収量は主幹形(2.5m)で最も多く、次いで主幹形(2.0m)が多く、果実重、果実横径および果皮a*値はいずれの樹形でも差はありませんでした(表1)。
3. 1kg当たり収穫作業時間は、主幹形(2.0m)でやや長くなり、開心自然形、棚仕立て形、主幹形(2.5m)でほぼ同等でした。主幹形(2.0m)の作業時間が長くなった原因は、側枝の配置間隔が密になり、作業の障害となっていることが考えられました。1m²当たり剪定作業時間は主幹形(2.5m)および主幹形(2.0m)で短くなりました(表1)。
4. 以上のことから主幹形(2.5m)が、収量性および作業性に優れた「露茜」に適した樹形であることが分かりました。



図1. 試験に供した各樹形 (左: 開心自然形、中央: 棚仕立て形、右: 主幹形 2.5m)

表1 各樹形における収量性、作業性および果実品質

| | 収量/樹 (kg) | 樹冠占有面積 (m ²) | 1m ² 当たり収量 (kg) | 1kg当たり 収穫作業時間 (秒) | 1m ² 当たり 剪定作業時間 (秒) | 果実重 (g) | 果実横径 (mm) | 果皮 a*値 |
|----------|--------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------|--------------------------------------|------------|--------------|-----------|
| 開心自然形 | 12.3 | 16.4 | 0.73 | 75(100) | 209(100) | 63.5 | 26.6 | 21.4 |
| 棚仕立て形 | 12.6 | 17.7 | 0.72 | 72(96) | 221(106) | 61.7 | 26.2 | 21.4 |
| 主幹形 2.5m | 22.6 | 18.3 | 1.26 | 73(97) | 204(98) | 65.9 | 27.4 | 21.1 |
| 主幹形 2.0m | 12.9 | 13.7 | 0.91 | 88(117) | 204(98) | 63.0 | 25.9 | 23.4 |

注) 2014年および2015年の2カ年平均です。果皮a*値は果皮の赤みを表す指標です。
樹冠占有面積は、縦樹冠x横樹冠x0.8として算出しました。

☆ 活用面での留意点

1. 「露茜」を主幹形に仕立てる場合、目標樹高(2.0~2.5m)へ達するまでは先端の発育枝を誘引し、切り返しを行って強い主幹に仕立てることが重要です。
2. 栽培管理マニュアル(ウメ「露茜」の早期多収生産及び高品質果実供給技術)が、http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/tsuyuakane/files/saibai_kanri_manual.pdfで利用できます。
3. 詳細については、宮崎県総合農業試験場・果樹部(0985-73-2121)へお問い合わせください。
(農研機構 果樹茶業研究部門 企画管理部 果樹連携調整役 和田 雅人)